



学校だより

令和2年度小川中学校
令和2年10月16日 発行

NO. 7 文責：小林 浩一

<第58回若鷹祭が感動と達成感とともに閉幕 10/3土>

～閉会式での生徒会長挨拶、閉会宣言より～



今、ここに若鷹祭が閉祭します。今年は新型コロナウイルスなどの影響もあり、例年の若鷹祭と違う部分が多くありました。

しかし、その様な事は私たちには関係ありません。確かに、私たちにも感染のリスクはあり、若鷹祭は1日開催となりました。感染予防として、マスクを着用したり、人と距離をおいたりしなくてはならない時もありました。ですが、私たちは、例年通りの若鷹祭、いや例年以上の若鷹祭にしようという一心で、今日まで準備に励んできました。

そんな若鷹祭の準備で、まず初めに行ったのが「若鷹祭テーマ決め」でした。今回の若鷹祭テーマ「Change up～新たな足跡を仲間とともに～」には、様々な想いが込められていますが、僕は一言で言うならば「成長」だと思います。「Change up」という言葉の通り、自分が、仲間が、若鷹祭が変化し、上がっていき、そうして辿り着く若鷹祭のことだと思うのです。

そんな若鷹祭にするために、私たちは色々な準備を進めてきました。テーマ決め、代表ポスター決め、ステージバック制作などでは、全校一人ひとりが参画しました。生徒会の仕事でも、本部執行は開祭式、閉祭式。評議・生活委員会、美化委員会、放送・体育委員会では、ステージバック制作。保健・給食委員会、園芸委員会では、アーチ制作。編集・図書委員会ではプログラム作成などの準備を行ってきました。新たな事にも挑戦しながら、一人ひとりが協力し合う、まさに「新たな足跡を仲間とともに」だったと思います。

そうして準備してきた若鷹祭を、今日は全力で表現することができました。最後までやりきることができました。そうして若鷹祭は今、閉祭します。

しかし、今までの仲間たちと笑った日々は、上手くいかなかった時は、そして今日ここで全力をふりしぼったことは、永遠に消えることはありません。いつまでも私たちの心の中にあり続けます。そして、たとえ将来自分が真っ暗な闇の中にいたとしても、それらが明るい方向へ導いてくれるはずです。

私はパンフレットに、「山を縦走してきたような気分」と書きましたが、しかし、頂上に立つと、常に目の前に更に高遠な山が現れます。そして、その山にまた登る。その繰り返しが「Change up」だと思います。今日までの日々は、一生私たちが Change up させてくれるはずです。

最後に、協力して下さった全校生徒の皆さん、手厚く指導下さった先生方、温かく向き合ってくださった保護者の皆さん、優しく見守って下さった地域の方々、そして若鷹祭に協力して下さった全ての方々に御礼申し上げます。ありがとうございました。今ここに、若鷹祭の閉祭を宣言します。

<若鷹祭閉祭式 校長講話より>

中学生っていいな。純粋に、ひたむきに、そして一生懸命自分を表現している中学生っていいな。今日の一日の発表から、そんなことを感じました。

さわやかな秋の一日が終わろうとしています。エネルギーにあふれ、明日への希望に満ちた秋の一日が、終わりを告げようとしています。私たちは今、達成感と充実感につつまれています。



例年とは違った若鷹祭でした。今年の若鷹祭は特別な若鷹祭でした。昨年までの計画や活動の記録、先輩方が残していつてくれた資料など使うことができませんでした。全て一から作り始めた、新しい小川中学校の若鷹祭でした。例年と違ったことを行う。こんなに準備が大変なことはありません。計画の作成が難しいことはありません。新しいことを始めるって本当に大変なことです。でも3年生は気がついていのではないのでしょうか。本当は、新しいことを始めるって、一番楽しいってことを。そしてやり終えた時に、今までに経験したこと

のない気持ちを味わえるってことを。生徒の皆さんは見事にやり遂げてくれました。

今の時代を生きる者として、新しい若鷹祭を創り上げるのは自分たちに与えられた使命である。そんな思いで生徒の皆さんはいたのではないのでしょうか。そして、それをできるのは自分たちしかいない。行った後には大きく成長している自分がある。そのことを今、感じているのではないのでしょうか。

3年生の皆さん。間違いなくこの第58回若鷹祭をリードしてくれたのは、あなた方でした。リーダーシップ、チームワーク、協力、思いやり、努力、積み重ね。数々の言葉が3年生を見ていると浮かんできます。何をしてよいのか分からなかった日々。投げ出したくなった時。意見がぶつかりあった時。そんな壁を乗り越えて、小川中学校の48名をここに連れてきてくれました。3年生、ありがとう。この若鷹祭のまとめをどうしていくのか。何を2年生に引き継いでいくのか。もう3年生は考え始めています。残された日はわずかです。生徒会のリーダーとして最後に何を発信してくれるのか、とても楽しみです。3年生の歌声。感動のあまり涙がこぼれました。3年生の歌声を聞けるのはあと卒業式だけかと思うと、何かさみしいです。

1年生の皆さん。初めての中学校の若鷹祭はどうでしたか。開祭式も閉祭式も、ステージバックも、アーチも、全て中学生が計画して、中学生が創り上げていく。それが若鷹祭です。2年生、3年生の先輩方はすごいでしょ。この若鷹祭を経験して、1年生は本当の意味での中学生になりました。中学生のすごさを知ったと思います。1年生の歌声、昨年の小学校6年生の時より大人っぽくなりました。堂々と小川村のことを発表してくれました。これからの1年生の活躍が楽しみです。

2年生の皆さん。365日後には、一年後には、間違いなく第59回若鷹祭がやってきます。そしてその若鷹祭をリードしていくのは、2年生の皆さんです。今の3年生や去年の3年生から、たくさんのことを教わりました。たくさんことを伝えてもらいました。一年後、何を今の1年生や小学校6年生に伝えてくれるのか。そのことを考えていく時となりました。一人一人が大きな声を出そうと取り組んだ合唱練習。仕事について、働くことについて考えた姿。2年生の確かな成長を感じました。

「Change up ～新たな足跡を仲間とともに～」。若鷹祭で新たな確かな足跡を皆さんは残してくれました。チェンジした姿をいくつも見させていただきました。でも、チェンジするということは簡単ではありません。変わりたい、変わりたいと思っても変わるものではありません。チャレンジ、挑戦する姿があったからこそ、チェンジ、変わることができました。挑戦なくして、変わることはできません。そのことを私は皆さんから教えていただきました。「変わること」。それはまさに、成長という言葉で言い換えられるでしょう。生徒の皆さんを大きく成長させてくれた、この若鷹祭に感謝の気持ちでいっぱいであります。

最後になりましたが、若鷹祭の準備の段階から支援し励ましてくださった保護者の皆様、応援して下さった地域の皆様、そして早朝より終日、生徒たちを温かく見守って下さいました来賓の皆様、全ての皆様に感謝と御礼を申し上げ、挨拶と致します。本当にありがとうございました。

～若鷹祭の様子～



開祭式



1 学年発表



2 学年発表



3 学年発表



男女バレー部発表



水泳部発表



文化部発表



吹奏楽部発表



音楽会



閉祭式



1 年生



2 年生



3 年生



全校集合写真



9・10月の行事より

<「縁の瓦」里帰りの会 9月24日>

奈良の薬師寺東塔（国宝）の大改修に伴い、1952年（昭和27年）に地元の依頼に応じて、当時の北小川中学校から信濃教育会を通して（屋根瓦の）寄付が行われました。長野県内の学校から寄付された瓦の内、平成、令和の大改修で、屋根の勾配に合わないなど、再利用できないと判断された57枚が戻されることになり、今回小川中学校にも瓦が戻ってくることになりました。

今回行われた「縁の瓦、里帰りの会」では、信濃教育会の武田会長様から、瓦についてのお話を聞き、生徒会長に手渡されました。長野と薬師寺をつなぐ縁の瓦です。小川中、小川村の宝として、大事にしたいと思います。



【講演される武田会長】



【瓦の返還式】



【現在は中学校の校長室横に展示中です】

<進路講話①（3学年）10月9日>

先週の金曜日に3学年で第1回進路講話が行われ、長野工業高等学校の校長先生、生徒のみなさん、長野文化学園高等学校の教頭先生がお見えになりました。

本来は3年生対象の講話ですが、この日は1年生も前半部分に参加し、高校の様子について聞くことができました。1年生にとってはまだ先のことのようにですが、1年生から進路先について考えるのはよいことだと思います。

3年生のみなさんにとっては、今、まさに進路について悩んでいる時期だと思いますので、志望校とは違う高校であっても、高校では何を学んでいるのか、どのような生徒を望んでいるのかが分かり、とても参考になったと思います。

講話の中で印象的だったのは、学力だけでなく、あいさつや掃除などがきちんとできる生徒であってほしいというお話です。学力はもちろん、中学校で大切にしている生活面（基本的な生活習慣）についてもきちんとできるようにしなくてはいけないのだと改めて感じました。



例年、お世話になっている皆様の中には、中学生が来てくれることを心待ちにされている方も多く、非常に残念に思っています。そこで今年は、直接会ってお話する代わりに「絵手紙」を全校で贈ることとしました。どの作品も贈る方のことを思い描いた、心のこもった作品となりました。喜んでいただけるとありがたいです。(以下は各学年生徒の絵手紙の一部になります)



1. 第2回参観日 10月23日（金）ですが、5校時に「Hiruyasu Match SP」（昼休マッチスペシャル）を実施します。若鷹祭で実施できなかった運動会の要素を取り入れながら、体育・放送委員会企画の「昼休マッチ」（昼休みの短時間でいう全校レクリエーション）の拡大版として全校生徒で行います。運動会種目のリレー、綱引き、大縄以外にも新種目も企画されておりますので、ぜひ、ご参観ください。その際は、事前の検温マスクの着用をお願いいたします。その後、学年学級PTAになります。
2. 2学年では、来週10月21日（水）に村内で職場体験学習を行います。1日村内の各職場でお世話になります。当日の昼食はお弁当になりますが、よろしくお願いします。
3. 前期が10月30日（金）で終了します。前期通知表は、10月30日（金）にお配りします。

第58回若鷹祭

